

1. 主な災害 ●●●

昭和五十八年以降の主な災害は、次のとおりである。

台風・大雨 平成九（一九九七）年九月十六日の台風一九号では、仁淀川の洪水により床上浸水二戸、床下浸水

二戸、避難四世帯九人。片岡・上ノ峠・栗ノ木で土砂災害が発生した。

平成十七（二〇〇五）年九月六日の台風一四号では、仁淀川の大洪水により避難勧告が発令された。床上浸水八戸、床下浸水四戸、避難一一七世帯二九六人。道路被害四二カ所、被害総額三億九五〇万円、農作物被害は不明。大渡ダムが特例操作実施寸前となった（最大放流量三三三〇立方メートル/秒、最大流入量四六五立方メートル/秒）。

平成十九（二〇〇七）年七月十四日の台風四号では、仁淀川の洪水により床上浸水一戸、避難三〇世帯六九人であった。

火災 平成十八（二〇〇六）年二月三日に発生した九区の建物火災は、越知町史上最大規模の建物火災と言われる。午後二時頃（推定）製材所から出火し、強風に煽られて瞬く間に市街地全域に飛び火して、あちこちで火災が発生した。午後七時二八分に鎮火したが、三九棟が焼け（全焼一一棟、半焼二棟、部分焼二六棟）、二〇世帯四九人が罹災した。消火活動に当たった消防団員二人が負傷した。消防防災ヘリ「りようま」により二六回の空中消火を行い、佐川町消防団からも応援出動をいただいた。